

西が丘水泳クラブ

(新日本スポーツ連盟北区)



↑創立40周年記念の集い(2015年)

1975年、新日本体育連盟(当時)が主催する「初心者水泳教室」から始まり、連盟の掲げる“どこでもだれでもスポーツを”という理念に共鳴し賛同する参加者が中心となって「新日本体育連盟北区西が丘水泳クラブ」として発足したの

が始まりです。以来、国立西が丘競技場プールを拠点として活動を続けてきました。

ところが1990年、文部省(当時)の方針で、国立西が丘競技場を取り壊し、「国立スポーツ科学センター」が建設されることになったため、クラブの存続にかかわる重大な事態となりました。私たち利用者は「旧来の施設を残す会」を結成し、北・板橋の両区をはじめ多くの利用者、各スポーツクラブ、各政党を巻きこみ一大反対運動をおこしたのは記憶に新しいところです。

2001年、新設の「国立スポーツ科学センター」施設の一般利用者への開放などを要求し交渉を重ね、不十分ではありますが、おおむね要求が実現し今に至っています。

現在、月3回程度の練習と、練習後に仲間と技術論や反省などをダベる「ダベリング」、機関紙「サンスイム」の発行などの活動をしています。通年の課題は、会員を増やすことで、北区や板橋区の広報紙への掲載と口コミを徹底しています。(伊波政昇さんより)